

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公開番号】特開2016-112120(P2016-112120A)

【公開日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-038

【出願番号】特願2014-252119(P2014-252119)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域を備える遊技盤を備え、当該遊技盤に備えられている始動口に遊技球が通過したことに基づいて当落抽選を実行する遊技機であって、

開閉部材が閉鎖されて前記遊技球が入球しないようにする閉鎖状態と、当該開閉部材が開放されて前記遊技球が入球可能となる開放状態とを有する入球装置が前記遊技盤に設けられており、

前記当落抽選によって当りとなる抽選結果が得られると遊技者に有利な有利遊技状態に制御する有利遊技状態制御手段と、

前記有利遊技状態に制御されているとき、閉鎖状態とされている前記開閉部材を所定の開放条件が成立した場合に開放させ、前記開閉部材を閉鎖させる条件として前記入球装置に所定数の遊技球が入球した場合に前記開閉部材を閉鎖させる開閉動作を実行させる開閉動作手段と、

開放状態にある前記開閉部材を前記開閉動作手段によって前記開閉部材を閉鎖させる条件を満たしていなくても閉鎖状態にさせる限定閉鎖手段と、を備え、

前記有利遊技状態は、前記開閉部材が開閉動作を繰り返して実行される有利遊技状態であり、

前記限定閉鎖手段による閉鎖状態は、前記繰り返して実行される開閉動作の総回数の半数に満たない回数で現れるようになされており、且つ前記繰り返して実行される開閉動作において連続して現れないようになされており、

前記有利遊技状態は、閉鎖状態とされている前記開閉部材を開放させるまでの時間が第 1 の時間および該第 1 の時間よりも長い第 2 の時間とがあるなかで、当該第 2 の時間をもって前記開閉部材を開放させた開放状態のあとに前記限定閉鎖手段による閉鎖状態が現れないようにした

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

パチンコ機として、従来、通常遊技状態中は閉鎖しており、大当り遊技状態中に開放して遊技球を入賞しやすくなるいわゆるシャッタ（アタッカー）を備える遊技機がある（たとえば、特許文献 1、特許文献 2 参照）。この遊技機におけるアタッカーは、例えば矩形の板材を有しており、この板材の下片が盤面に対して枢支され、上片が盤面に対して前後するように揺動可能とされている。そして、閉鎖状態にあるアタッカーが揺動して、その上片が前方に移動した際にアタッカーが開放し、開放状態にあるアタッカーが揺動してその下片が後方に移動した際にアタッカーが閉鎖する。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 3 】

【 特 許 文 献 1 】 特 開 2 0 0 6 - 2 6 3 2 6 3 号 公 報

【 特 許 文 献 2 】 特 開 2 0 1 3 - 7 0 9 9 5 号 公 報

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 4 】

上述したアタッカーへの工夫の余地はまだまだ残されており、工夫の施された遊技機を望む声も少なからず存在する。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 5 】

そこで、本発明の課題は、工夫が施された遊技機を提供することにある。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

上記課題を解決した本発明に係る遊技機は、遊技球が流下する遊技領域を備える遊技盤を備え、当該遊技盤に備えられている始動口に遊技球が通過したことに基づいて当落抽選を実行する遊技機であって、開閉部材が閉鎖されて前記遊技球が入球しないようにする閉鎖状態と、当該開閉部材が開放されて前記遊技球が入球可能となる開放状態とを有する入球装置が前記遊技盤に設けられており、前記当落抽選によって当りとなる抽選結果が得られると遊技者に有利な有利遊技状態に制御する有利遊技状態制御手段と、前記有利遊技状態に制御されているとき、閉鎖状態とされている前記開閉部材を所定の開放条件が成立した場合に開放させ、前記開閉部材を閉鎖させる条件として前記入球装置に所定数の遊技球が入球した場合に前記開閉部材を閉鎖させる開閉動作を実行させる開閉動作手段と、開放状態にある前記開閉部材を前記開閉動作手段によって前記開閉部材を閉鎖させる条件を満たしていなくても閉鎖状態にさせる限定閉鎖手段と、を備え、前記有利遊技状態は、前記開閉部材が開閉動作を繰り返して実行される有利遊技状態であり、前記限定閉鎖手段による閉鎖状態は、前記繰り返して実行される開閉動作の総回数の半数に満たない回数で現れ

るようになされており、且つ前記繰り返して実行される開閉動作において連続して現れないようになされており、前記有利遊技状態は、閉鎖状態とされている前記開閉部材を開放させるまでの時間が第１の時間および該第１の時間よりも長い第２の時間とがあるなかで、当該第２の時間をもって前記開閉部材を開放させた開放状態のあとに前記限定閉鎖手段による閉鎖状態が現れないようにしたことを特徴とする遊技機。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明に係る遊技機によれば、工夫が施された遊技機を提供することができる。